

スマホ版・タブレット版が新登場!!

進化した速報取材配信の決定版 VistaFinder Mx の発売について

株式会社 KDDI 研究所（本社：埼玉県ふじみ野市、代表取締役所長：中島康之）は、速報取材映像配信システム VistaFinder の新シリーズ “VistaFinder Mx” を 12 月 2 日（金）より販売開始致します。

昨今の映像撮影機器の小型化・高性能化や、有線・無線高速通信インフラの普及により、あらゆる場所から映像伝送ができるようになりつつあります。KDDI 研究所が自社の先進映像符号化・伝送技術を用いて開発した VistaFinder は、これまでもカメラと PC であらゆる場所から生中継ができる可搬型取材映像伝送システムとして、放送事業者を始め国内・海外におけるあらゆる現場中継に幅広くご利用頂いております。

しかし、現場からの生中継を行うような失敗の許されない過酷な環境を日夜経験している撮影担当者からは、「もっと小さいものを」、「もっと簡単に使えるシステムを」、「もっとどんな時でも途切れない伝送を」、という声が絶えず届いておりました。

このたび発売を開始します新シリーズ “VistaFinder Mx” は、このような現場のニーズに真摯に向き合い、KDDI 研究所の映像・音声・ネットワークの研究者が一丸となって開発した画期的な新製品です。

■ スマートフォン版、タブレット版が新登場

現場からの「もっと小さく軽いものを！」のニーズに応え、Android スマートフォン版、タブレット版がリリースされます(2012 年 2 月発売開始予定)。これまではノート PC とビデオカメラの携帯が必要でしたが、これからは「スマートフォンひとつ」と機動性が劇的に向上します。また、タブレット版では画面に表示されるナレーションを読みながら撮影を行うなど、撮影現場投入要員数を最少化することができます。

■ ネットワークの知識不要！ライブ配信も蓄積配信も簡単操作でセキュアに実現

現場からの「もっと簡単に使えるシステムを！」のニーズに応え、IP ネットワークの知識や映像の知識が無くても綺麗な映像をセキュアに伝送ができる独自アーキテクチャを確立しました。セキュアな伝送には AES 以上のロバスト性かつ超高速処理が可能な KDDI 研究所の超高速暗号化アルゴリズム KCipher-2 を採用し、HTTPS や VPN 等を用いたセッション確

立が不要となります。

■ KDDI の 3G・WiMAX ネットワークの性能を最大限に引き出す独自伝送制御技術

現場からの「もっとどんな時も途切れない伝送を！」のニーズに応えるため、通信キャリアであり映像のプロフェッショナルである KDDI の特性を最大限に活かした新しい映像伝送制御アルゴリズムを確立しました。3G、WiMAX ネットワークを知り尽くした KDDI ならではの映像符号化+伝送量制御技術により、これまでは伝送中に映像が途切れたり、引っかかってしまったりするような環境であってもスムーズに伝送を継続する仕組みを実現しました。更に、伝送帯域が非常に低くなってしまいうような環境化では、音声のみの配信に切り替えるモードも用意致しました。

新シリーズ VistaFinder Mx は、放送事業者様だけでなく、例えば地方自治体様や、土木建築事業者様における災害現場や工事現場からの映像伝送や、医療事業者様における救急医療現場映像伝送をはじめ、そのほか映像伝送が必要となるあらゆるシーンでご利用頂くことができます。

なお、” VistaFinder Mx ” は 2011 年 11 月 16 日 (水) より幕張メッセで開催される InterBEE2011 KDDI 研究所ブース (No. 8301) に出展致します。展示会場では、これまでの PC 版より最大 12Ch 同時受信に加え、新登場のスマートフォン版やタブレット版を実際に触れて頂くことや、KDDI 研究所の伝送制御技術による伝送画質向上のデモンストレーションをご用意して、皆様のお越しをお待ちしております。

以上



Vista Finder Mx スマートフォン版と PC 版

本件に関するお問合せ先

株式会社 KDDI 研究所 営業企画グループ

TEL:049-278-7545 Email: inquiry@kddilabs.jp